



第3回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード  
受賞作品決定のお知らせ

日本文学研究者ドナルド・キーン先生の功績を継承し、さらに広く伝える役割を果たすとともに、さまざまな世代が日本文学・文化・社会・国際関係・平和について考えるきっかけとするため、公益財団法人ブルボン吉田記念財団（新潟県柏崎市）は「第3回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード」を実施し、このほど 12 本の入選作品と、特別表彰が決定しました。

表彰式・記念講演会は 2026 年 3 月 8 日（日）、柏崎市市民プラザ「波のホール」にて開催いたします。

「第3回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード」は大学生・一般の部、高校生の部、小学校高学年～中学生の部の3部門に計80作品の応募がありました。11月21日、4人の選考委員による厳正な審査の結果、大学生・一般の部の最優秀賞には京都市北区の会社員、古井菜月さん（29）が受賞しました。また中学・小学生の部の最優秀賞には柏崎市立南中学校3年の五十嵐彩葉さんが受賞しました。また「第3回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード特別表彰」（略称：特別表彰）には、ドナルド・キーン先生を題材・教材にし、独自の事前学習やセンターの見学について「総合学習」として取り組み、作品応募につなげていただいた柏崎市立南中学校に贈ります。

### 受賞されたみなさん

（年齢は12月10日現在）

#### ＜大学生・一般＞ 最優秀賞1 優秀賞5

最優秀賞	平和は、通訳できるか -キーン先生が教えてくれたこと-	古井 菜月	30歳 会社員
		ふるい なつき	京都府京都市北区
優秀賞	日本を選ぶドナルド・キーン先生から学んだ人生の教訓-	モヴシュク オレクサンダー (ウクライナ出身)	57歳 富山大学教授 富山県富山市
		尾藤 克之	57歳 コラムニスト、作家、障害者支援団体理事
優秀賞	文学に描かれた『見えない壁』一日 本社会の障害者観を問い直す-	びとう かつゆき	東京都中野区
		岩船 尚貴	44歳 中学校国語教諭(柏崎市立南中学校教頭)
優秀賞	平和への時計の針を進めるために～文学がつなぐ過去・現在・未来～	いわふね なおき	新潟県柏崎市
		高橋 瞳美	35歳 団体職員
優秀賞	青い哀しみ	たかはし むつみ	神奈川県横浜市青葉区
		野口 裕太	41歳 中学校教諭
優秀賞	「ひとすじ」の道を未来へつなぐードナルド・キーン先生に学ぶ平和と教育	のぐち ゆうた	新潟県長岡市

○最優秀賞／10万円 ○優秀賞／5万円 ほかに賞状、記念盾

**<高校生> 最優秀賞 1 優秀賞 2**

最優秀賞	夢さに宿る希望：ドナルド・キーンの言葉に導かれて	蒲原 詩織	17歳 作新学院高等学校 2年
		かもはら しおり	栃木県壬生町
優秀賞	『二つの母国に生きて』を読んで	中村 嶺那	16歳 共立女子高校 1年
		なかむら れいな	千葉県市川市
優秀賞	美がつくる共感の平和	菅野 こころ	18歳 大阪女学院高等学校 3年
		すがの こころ	兵庫県西宮市

○最優秀賞／図書カード3万円 ○優秀賞／図書カード1万円 ほかに賞状、記念盾

**<小学校高学年～中学生> 最優秀賞 1 優秀賞 2**

最優秀賞	音楽会を開いた意味	五十嵐彩葉	15歳 柏崎市立南中学校 3年
		いがらし いろは	新潟県柏崎市
優秀賞	ドナルド・キーンさんから学んだこと	月橋萌衣	15歳 柏崎市立南中学校 3年
		つきはし めい	新潟県柏崎市
優秀賞	日本の心とドナルド・キーン	石田 蓮	14歳 柏崎市立南中学校 3年
		イシダ レン	新潟県柏崎市

○最優秀賞／図書カード1万円 ○優秀賞／図書カード5千円 ほかに賞状、記念盾

参加賞として応募者全員にポストカード2枚進呈

**<第3回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード特別表彰> (略称：特別表彰)**

柏崎市立南中学校	<b>(授賞理由)</b>
	ドナルド・キーン先生を題材・教材にし、独自の事前学習やセンターの見学について「総合学習」として取り組み、作品応募につなげていただきました。 また作品についても教師・生徒が共有してそこからさらに考え・深めるようにされております。

○賞状、記念盾のほか副賞として「ドナルド・キーン著作集」全16巻(新潮社)贈呈予定

柏崎市立南中学校 小山明 (こやま・あきら) 校長コメント

当校ならびに当校の生徒が受賞させていただいたことを大変名誉に思っております。私たちは、キーンセ

# ドナルド・キーン・センター 柏崎

DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI

〒945-0063 新潟県柏崎市諏訪町 10-17

TEL・FAX 0257-28-5755

センターでの学習や作品の作成を通して、学校の展示パネルだけでは伝わりきらない一人の偉人の一生を肌で感じることができました。生徒は学習を通して、地元への誇りを高め、これからの生き方について深く考える機会となりました。

## ＜選考委員＞（順不同）

- 宮田 亮平氏…前文化庁長官・元東京藝術大学学長・2023年度文化功労者
  - 北嶋 藤郷氏…敬和学園大学名誉教授・「日本におけるドナルド・キーン書誌／ドナルド・キーンをめぐる人びと」著者
  - 工藤 美代子氏…ノンフィクション作家・「工藤写真館の昭和」「美智子皇后の真実」他著者
  - 南 加乃子氏…（公財）ブルボン吉田記念財団評議員、天青社代表・構成作家・番組プロデューサー
  - 大倉 政洋氏…（公財）ブルボン吉田記念財団理事・元柏崎市教育長
- （今回、工藤氏は健康上の理由のため審査には加わらず、選考は4人で行いました）

## 受賞作品の概要と選考委員の寸評

### ●大学生・一般の部

#### □最優秀賞

古井 菜月	平和は、通訳できるか ー キーン先生が教えてくれたことー
-------	------------------------------

**(作品概要)** 海外で生まれ、海外の人々と接する仕事に関わる筆者は、キーン氏から「翻訳は単なる言葉の変換ではなく文化の対話である」ことを学ぶ。その延長上に平和があり、言葉の奥にある経験や背景を想像し、尊重する姿勢を持って生きる決意を新たにする。

**(選考委員の寸評)** ○キーン先生の異文化理解や異文化交流から翻訳者の役割を読み取ろうとする、スケールの大きさに感動した。○「私にとって平和とは、異なる環境で生きてきた者たちの背景を慮ることです」という言葉には実感がこもっており、実践しようとする姿勢に敬意を表する。○「つながりを大切にするという姿勢」「理解しようとする姿勢」を自身の生活・仕事の中で持ち続けてほしい。

#### □優秀賞

モヴシュク オレクサンダー	日本を選ぶドナルド・キーン先生から学んだ人生の教訓 —
---------------	--------------------------------

**(作品概要)** ウクライナ生まれ、計量経済学者の筆者は雪深い新潟の国際大学からの招へいを受け来日する。京都に在留したキーン先生に自身を重ね、30 年以上日本に暮らす中で「外から来た者」が「共に生きる仲間」へと変わっていく過程を振り返る。

**(選考委員の寸評)** ○キーン先生の著作を英文で読んだ人の文章は興味深く、その思いに引き込まれた。○学生に学ぶことの喜びを与える工夫をしているという話にキーン先生がオーバーラップする。○彼のような熱心なキーン研究者からキーンの業績を世界に広めてもらいたいと切望する。

#### □優秀賞

尾藤 克之	文学に描かれた『見えない壁』ー日本社会の障害者観 を問い直すー
-------	------------------------------------

**(作品概要)** 日本文学の中で障害者はどう描かれてきたのか。キーン氏が日本文学の特質として指摘した「同質性への信仰」が日本社会にいまも残る障害者に対する「心の壁」の根源ではないかと分析。その壁を溶かす力はやはり文学にあるという。

# ドナルド・キーン・センター 柏崎

DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI

〒945-0063 新潟県柏崎市諏訪町 10-17

TEL・FAX 0257-28-5755

**(選考委員の寸評)** ○文学における障害者の視点や描かれ方が源氏物語や竹取物語から時代を追って描かれる。そのスケールの大きさに驚嘆し、新鮮だった。○特別支援教育の現場をよく知る筆者の「文学の力」への期待が強く読み取れる。

## □優秀賞

岩船 尚貴	平和への時計の針を進めるために～文学がつなぐ過去・現在・未来～
-------	---------------------------------

**(作品概要)** 柏崎市立南中学校に赴任した国語教師の筆者は「知覧特攻平和会館」や「アウシュビツ収容所」を訪問した体験を踏まえた上で「ドナルド・キーン・センター柏崎」で見たキーン氏の日本文学や世界の平和について思案をめぐらせる。

**(選考委員の寸評)** ○「言葉の力」を確信しながら日常を送る姿勢が随所に伝わる。キーン・センターのある柏崎に赴任した縁を生徒指導にいかしてほしい。○自分の言葉で話すとはよく言われることだが、筆者はそれを実践していると感じる。○“ドナルド・キーン平和賞”に値する取り組みだ。

## □優秀賞

高橋 瞳美	青い哀しみ
-------	-------

**(作品概要)** 人道支援の仕事に携わる筆者は、沖縄で沖縄戦について学ぶ中で、キーンがたどった太平洋戦争の経験に興味を持つ。沖縄でのキーンのエピソードと、隣国に逃れたウクライナ人から聞いた話が重なり、庶民の暮らしを無視した戦争への憤りをあらわにする。

**(選考委員の寸評)** ○キーンの戦争との関わりと作者の沖縄が重なり合う。さらに今も続くウクライナでの戦争。戦後 80 年は現代と地続きであることが伝わってくる。○キーン氏の沖縄での希有な経験の記録から「こんな人と人とのつながりがありながら、なぜ 20 万人もの人の命が消えたのか」と疑問を抱いた筆者の思いがひしひしと伝わる。

## □優秀賞

野口 裕太	「ひとすじ」の道を未来へつなぐ—ドナルド・キーン先生に学ぶ平和と教育
-------	------------------------------------

**(作品概要)** キーン氏の「研究に打ち込むたゆまぬ姿」に感銘を受け、中学校の英語教諭として「文化理解を通じた平和への貢献」を教え子に伝える。自らも異文化に向き合う姿勢、そこに生きる人々への敬意を持って生きようと努めていく。

# ドナルド・キーン・センター 柏崎

DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI

〒945-0063 新潟県柏崎市諏訪町 10-17

TEL・FAX 0257-28-5755

**(選考委員の寸評)** ○キーン氏著作「このひとすじにつながりて」が筆者の生き方に多くの示唆を与えたことが伝わってくる。○教え子たちにも小さな一步からの精神、たゆまぬ努力の大切さを示し続けていってほしい。

## ●高校生の部

### □最優秀賞

蒲原 詩織	儚さに宿る希望：ドナルド・キーンの言葉に導かれて
-------	--------------------------

**(作品概要)** ニューヨークの地で聴いたウガンダ青年のスピーチ音源を帰国後聞き直し、日本語訳を試みる。その作業を通してキーン氏が翻訳に込めた「（相手に対する）深い共感と敬意」の姿勢に近づこうとする。またパレスチナの少女の凄惨な体験談から、キーン氏の「呼吸に耳を澄ます」ことの大切さを実感する。

**(選考委員の寸評)** ○海外での研修を通じて国際問題を知識ではなく体験している。その新鮮な感覚をキーンの生き方や日本文学の奥深さと重ね合わせながら丁寧に書いている。○世界の分断と不信が進む中で若者たちがお互いを理解していくことが希望になる。○いろいろな経験から学び、将来への希望につなげようとする生き方に感服する。

### □優秀賞

中村 嶺那	『二つの母国に生きて』を読んで
-------	-----------------

**(作品概要)** キーン氏の異国の文化を真摯に受け止め、日本文学を自らの母国の一つとした歩みを学び、自らのカナダ留学経験と重ね合わせる。キーン氏が繰り返し語った「文化は隔てるものではなく結び付けるものである」という真理をかみしめる。

**(選考委員の寸評)** ○どんな時でもキーンさんから学んだ「人間を結び付ける力を信じる姿勢」が筆者の生き方を後押ししてくれるはずだ。○文章の構築も女子高校生らしいもので好感が持てる。

### □優秀賞

菅野 こころ	美がつくる共感の平和
--------	------------

**(作品概要)** 美とは何か、なぜ心が動くのか。筆者は幼少期に芽生えた気持ちを大切にはぐくむ中で、キーン氏の著作と出合う。文学や文化を通じて世代や国境を越えた平和の輪を広げる将来の目標を見据え、夢を膨らませる。

**(選考委員の寸評)** ○将来は「人々が共感し合える社会を築く一助になりたい」と前を向く姿は実にすがすがしい。○「文化を愛することは人と共に生きる決意にまでつながるのだ」と

いう思いに至り「平和は戦争がない状態だけを意味するものではない」という言葉に深く考えさせられた。

### ●小学校高学年～中学生の部

#### □最優秀賞

五十嵐 彩葉	音楽会を開いた意味
--------	-----------

**(作品概要)** 「ドナルド・キーン・センター柏崎」を訪問。ハワイの日本人捕虜がクラシック音楽を聴きたいという希望をかなえたキーン氏の思いやりが印象的だった。

**(選考委員の寸評)** ○音楽は自己満足だけではなく、人と共有するものだという気づきを得たことが素晴らしい。○ものの見方のスイッチが入った瞬間を感じさせる作品。○キーン氏の思いと日本人捕虜の気持ちに考えをめぐらす筆者の感性は素晴らしい。

#### □優秀賞

月橋 萌衣	ドナルド・キーンさんから学んだこと
-------	-------------------

**(作品概要)** キーン・センター柏崎で印象に残ったことを紹介し、「好き」を深めることの大切さに思い至る。私はどんな風にこれから生きたいのだろう、人生は希望に満ち可能性があるふれている。

**(選考委員の寸評)** ○取り組んでいる「綾子舞」への意欲が増したのは素晴らしいこと。○筆者はこれから実体験を見直し深めることの意味を知っていくのだろう。○人生に光を見出すその発見に十代のみずみずしさを感じる。

#### □優秀賞

石田 蓮	日本の心とドナルド・キーン
------	---------------

**(作品概要)** キーン先生は、日本人は軍国主義の恐ろしい国民だと思っていたが、ニューヨークの本屋で見つけた「源氏物語」によって人生観が変わった。自分も多文化との素敵なお合いをしたい。

**(選考委員の寸評)** ○日本文学研究というテーマは中学生には難しいのではないかと思うが、筆者は「キーン先生が一番重視したものは人間の情緒、感情表現のところ」という点に注目した。彼の今後の文学との出合いが楽しみだ。○キーン氏を理解しようと努める筆者のまっすぐなまなざしが伝わってくる。

**<第3回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード 応募状況>**

○応募期間 2025年4月16日～9月1日

○対象 大学生・一般の部 2000～4000字 高校生の部 2000～3000字 小学校高学年～中学生の部 1000～2000字（写真・図表等は文字数に含めない、英文引用は1単語1文字）

○応募作品数および前回比較

	第3回	第2回	前回比	第1回
	応募作品数		増減(伸長率)	応募作品数
大学生・一般の部	52	60	-8 (86.6%)	55
高校生の部	4	9	-5 (44.4%)	5
小学校高学年～中学生の部	24	46	-22 (52.1%)	100
合 計	80	115	-35 (69.5%)	160

○地域別応募状況

	区 分	応募作品数	地域別内訳 ※複数作品応募含む
大学生・一般の部	新潟県内	12	柏崎・長岡 3、新潟 2、新発田・見附・三条・胎内 1
	新潟県外	40	東京 8、千葉 5、神奈川・福岡 4、岐阜 3、北海道・埼玉・広島 2、茨城・群馬・長野・富山・静岡・大阪・京都・三重・熊本・佐賀 1
高校生の部	新潟県内	0	
	新潟県外	4	栃木・千葉・兵庫・沖縄 1
小学校高学年～中学生の部	新潟県内	24	柏崎(南中学校)24
	新潟県外	0	
合 計		80	新潟県内：36 構成比 45.0% 新潟県外：44 構成比 55.0%

○審査方法

事務局3人による1次審査、選考委員4人（1人健康上の理由により不参加）による個別の2次審査を経て、11月21日、新潟市中央区のANAクラウンプラザホテル新潟にて最終審査会を行いました。（1人欠席、宮田亮平委員オンライン参加）

〈アワード関係 今後の日程〉

■第3回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード表彰式・記念講演会

日時 2026年3月8日(日)13:00~(開場 12:00)

会場 柏崎市市民プラザ「波のホール」

お問い合わせ先

文学・平和アワード事務局(ドナルド・キーン・センター柏崎)

担当 佐藤

TEL・FAX 0257-28-5755

(~12/27:月・火除く10:00~17:00、

1/5~:土・日・祝日除く10:00~17:00)